

平成 26 年度第 3 回学校評議委員会

日 時 平成 27 年 3 月 6 日 会議室

出席者 評議員 4 名 (欠席 3 名)

学校側 学校長 教頭 教務主任 生徒指導主任 進路指導主任 生徒会顧問
渉外係 事務長 教務係

- 1 開式の言葉 (教頭)
- 2 学校長あいさつ (荒木学校長)

第 2 回学校評議委員会にさいしては、川中島地区を含め広範囲からのご出席に感謝申し上げます。地域に根ざした学校を目指すためにも、本日ご臨席いただいた方の貴重なご意見を学校運営に活かしていきたいと存じます。



3 議事・報告

(1) 第 2 回学校評議員会・地域の皆様と生徒会役員との合同懇談会 [教務]

(総括) いただいたご意見として以下のものがあつた。

- ・良くはなつてきている。地域の大人に対して挨拶がもっとできるとよい。
- ・ボランティアの取り組みは、生徒会執行部だけでなく一般の生徒にも広げていって欲しい。
- ・長南生として誇れるものが欲しい。

(2) 活動報告

・教務 [教務主任]

(総括) 公開授業・体験入学・職員研修などは必要なものなので続ける。

・生活指導 [生活指導主任]

① 自転車事故 本年度 12 件 (昨年度より 3 件減少)

原因 マナーの悪さ・新 1 年の不慣れさ (4~5 月に集中)

② 基本的な生活習慣 確立されてきているのではないかと思われる。

③ 携帯使用への対策 係として一番注意している。

→新 1 年生に対しては 3 月のオリエンテーションから指導していく。

・進路指導 [進路指導主任]

(総括) 国公立 5 名となるが、私大進学者数は更に伸ばしたかった。

・生徒会 [生徒会顧問]

(総括) ボランティア活動では、いろいろな団体から依頼されるようになった。

今後も地域と共に活動できればと感じている。

・渉外 [渉外係]

PTA 会報が来年 100 号を迎えるので、特別な企画を考えている。

(3) 平成 26 年度学校評価 [教務主任]

- ・学校評議員の中間報告
- ・生徒による授業評価・学校評価 (年度末)
- ・保護者による学校評価 (年度末)
- ・職員による学校評価

4 各評議員より

栗田氏

- ・あいさつはむずかしい。大人でもあいさつができないのだから。
- ・進路指導の先生方の努力に頭が下がる。

小林氏

- ・自転車事故が多いので、保健の加入が大切。
- ・服装はしっかりしている生徒が多い。
- ・学校評価はつけづらいので、何かもっと資料があるとうれしい。

中澤氏

Q1 卒業後の生徒たちに対してどのようなフォローをしているのか

A 今現在そのようなシステムがないので、今後の検討課題としたい。

Q2 いじめアンケートについて

親・教師に言えないいじめはある。どこかで悩みを聞ける場所が必要（要望）

Q3 学校評価について

生徒・職員は同じ項目でアンケートを実施しているか？

A 全部同じ項目で実施することはできないが、検討はしていきたい。

Q4 南高の課題は何か？

A 各係・各教科間で情報を共有していくこと。

Q5 17歳でノーベル賞を受賞したマララさんについて、授業で扱ったか？

A 英語の授業時、マララさんのスピーチを教材として扱った。

A 2学期終業式時、学校長から校長講話として全体におこなった。

村松氏

- ・中學の朝部活の中止の原因は、実はスマホの使用が原因ではないかと思う。

Q1 通学路として、川中島駅を使わない理由は？

A 千曲市方面から見れば、今井駅の方が近いからではないかと思われる。

Q2 長野保健大学が地元にあるが、何名合格したのか

A 結果としては、指定校の1名のみであった。専門学校が大学に昇格したりするようなケースでは、しばしば難易度が上がる。よって、県短が大学になれば難しくなると思われる。

